

教科目名 技術論 (General Principles of Technique)

学科名・学年 : 機械工学科 4年

単位数など : 選択 1単位 (前期1コマ, 学習保証時間 22.5時間)

担当教官 : 梅津清二, 後藤末弘

授業の概要		
技術は自然と社会の二重性という性格を持つ。技術を従来の工学的アプローチだけでなく広く歴史的, 社会的に考察し, 技術のあり方を考える。本講義は技術者倫理を学ぶ基礎と位置づける。		
到達目標		大分高専目標 (A2), JABEE 目標 (b)
技術の歴史的・社会的認識を深め, そのありかたについて, 見識を持ち言葉や文章で表現できるようにする。工学倫理の背景を理解できるようにする。		
回	授 業 項 目	内 容
1	1.序論 現代技術をどう考えるか	戦後より現代に至る間に発生した, 技術に関わる代表的事件, 事故をテーマに, 技術あるいは技術者と人間社会との関連について考察を進める。この作業を通じ, 技術者としての立脚点を培うと同時に, 次なる社会での技術, 技術者のあり方を学ぶ。
2	2.現代社会と技術 (後藤末弘)	
3	(1)「松川事件」とある技術解析とその理念	
4, 5	(2)ある「飛行機事故」の事故解析と考察	
6, 7	(3)「資源, エネルギー, 消費社会」と技術対応	
	(4)「地球環境」と人間社会	
	3.技術の内的発達法則 (梅津清二)	
8	(1)技術における光と影	
9, 10	(2)人間と技術の歴史	
11	(3)内的発達法則	
12	(4)技術史上における現代の位置付け	
13, 14	(5)新技術提案	
15	4. 技術論講義からなにを学んだのか パネルディスカッション	
履修上の注意		歴史, 倫理, 各専門教科, 新聞, 雑誌等の評論や記事などに注意深く目を通す
教科書		教科書は使用せず。
参考図書		適宜プリント等資料配布, 中村静治, 「生産様式の理論」, 青木書店. 石谷清幹, 「工学概論」, コロナ社. 松川裁判特集号 中央公論社, 加藤寛一郎, 「墜落」, 岩波書店. 吉川弘之, 「テクノロジーの行方」, 岩波書店. 中岡哲郎, 「技術文明の光と影」, 日本経済新聞社.
関連科目		専門各教科, 社会科, 国語
評価方法		最終成績 = (後藤評価 × 3 + 梅津評価 × 2) / 5, 後藤評価 = 70 (試験) + 30 (レポート1), 梅津評価 = 50 (課題) + 50 (レポート2)